

重要取組シート

中区役所 企画総務課

中区役所 自治推進課

取組項目		地域防災力の向上
現状・課題		○ 今年 1 月に発生した能登半島地震では、多くの方々が被災され、電気・ガス・上下水道・道路などのインフラ施設も大きな損傷を受けるなど甚大な被害をもたらした。改めて、大規模災害により、多くの被災者が発生した場合の避難所運営の対応や、ライフラインに大きな被害が発生した場合の対応など大きな課題となっている。 ○ 改めて、自助・共助・公助の連携による避難所運営における役割の確認や、大規模災害が発生した場合の想定を超える状況を踏まえた訓練などにより、防災力の向上が喫緊の課題である。 ○ 突発的な集中豪雨により、急遽、避難所開設が必要となった場合でも開設が遅れることのない仕組みが課題となっている。
取組の内容		○ 自主防災組織への地区防災計画策定の支援 地域特性を反映し、地域住民自らの手で作成する避難所運営マニュアルや、校区防災カルテを含む地区防災計画を作成する取組に対して、専門家の派遣等の支援を行うとともに、能登半島地震で浮き彫りとなった課題を共有し、対策についてマニュアル等に反映する。 ○ 予測せぬ突発的集中豪雨時の対応訓練 予測せぬ突発的集中豪雨時に避難所対応職員が 1 時間以内に避難所を開設できない場合に備え、校区の自主防災組織による避難所開設のバックアップ体制を想定した避難所の開設・開設の訓練を行う。
スケジュール	前期 (～7 月)	☐ (～7 月) 地区防災計画策定支援、未実施校区との調整 ☐ (～5 月＜出水期まで＞) 避難所開設のバックアップ体制について関係者との打合せ及び訓練実施 ☐ (6～7 月＜出水期＞) 避難所開設に係るバックアップ体制の試行、検証
	中期 (～11 月)	☐ (～11 月) 地区防災計画策定支援内容の調整 ☐ (～9 月) 避難所開設に係るバックアップ体制の運用 ☐ (9 月～) 13 校区の自主防災組織と連携した避難所運営訓練
	後期 (～3 月)	☐ (1 月) 各局区災害対応訓練の実施（危機管理室主催） ☐ (～3 月) 地区防災計画策定支援の実施 ☐ (～3 月) 13 校区の自主防災組織と連携した避難所運営訓練
	次年度以降	☐ (4～3 月) 事業継続
進捗の状況	前期 (～7 月)	☐ (～7 月) 校区カルテや避難所運営マニュアル策定に関するワークショップ、打合せ会議を実施 ☐ (7 月) 地区防災計画未実施の 3 校区と調整し、うち 1 校区で、校区カルテ作成に着手 ☐ (5 月) 避難所開設のバックアップ体制について関係者との打合せ及び訓練実施

(様式 4)

	中期 (～11月)	☐ (～11月) 前期に引き続き、地区防災計画策定に向けて校区カルテや避難所運営マニュアル策定に関するワークショップ、打合せ会議を実施 ☐ (9月～) 13校区の自主防災組織と連携した避難所運営訓練を実施 ☐ (～11月) 避難所開設に係るバックアップ体制の運用 ☐ (10月～) 中区災害対応マニュアルの更新作業(南海トラフ臨時情報発表時の体制を追記及び全体の見直し)		
	後期 (～3月)	☐ (1月) 危機管理室主催にて各局区災害対応訓練を実施 ☐ (～3月) 前期・中期に引き続き、地区防災計画策定に向けて校区カルテ策定に関するワークショップ、打ち合わせ会議を実施 ☐ (～3月) 13校区の自主防災組織と連携した自主防災訓練の実施 ☐ (～3月) 中期に引き続き、中区災害対応マニュアルの更新作業(南海トラフ臨時情報発表時の体制を追記及び全体の見直し)		
2025 堺市基本計画	該当する 施策	5- (1) 自助・共助・公助のバランスのとれた防災・減災力の向上		
	寄与する KPI	—		目標値(2025年度) —
未来都市計画 堺市SDGs	最も貢献する SDGsのゴール	ゴール番号 11	住み続けられるまちづくりを	
	寄与する KPI	—		目標値(2025年度) —